

現場見学感想文

(●) 番 氏名 (●●●●●●●●●●)

今日の現場見学では、一般国道8号魚津・滑川バイパスへ行きました。

座学では、聞いたことのない機械が数多くあり、機械の名前を覚える良い機会になりました。

モーターグレーダーによるマシンコントロール技術の実施体験では、最新の技術を見ることのできる良かったです。また、実際に乗って試することで、工事の規模を間近で感じることもできました。

モーターグレーダーは、センサにより自動で動いていたのでもういいと思いました。

作業員装着感知警報システム「ローラ-用メットセニサー」実施体験では、安全第一が大事だと改めて感じました。ローラ-用メットセニサーは、ローラ-を運転している人の死角でも、音などにより、危険を知らせていたのが重要な役割をしていると思いました。

橋の工事しているところを実際に歩いてみて、段々と道路の形になり、完成すると達成感があると思いました。

午後からは、延槻大橋レッカー無線誘導実施を見ました。実際に聞くことはできなかったけど、会話しながら荷物を所定の位置までクレーンで持っていくことは大変だと思いました。

どの作業でも周りを見ながらやらないといけないなと思いました。

この工事により、交通渋滞などが解消されていくので、土木工事では、人のためになっていると思いました。

この現場見学で学んだことを生かし、これからの将来のために勉強を頑張りたいです。

現場見学感想文

() 番 氏名 ()

今回の現場見学でわかったことは、最近の工木では建設ICTというデータ管理システムを使用しているということである。現在では3次元の設計データを使用することが普通になっているが、5年前までは2次元の設計データを使用していて、3次元を実現できなかったという状況であった。たのみに、技術が進歩して一瞬で3次元データに切り替えられるくらいまでになってきていると思われました。

今回の講演では、工事の際の事故に対応するための安全対策についても知ることができました。その一つとして、重機とヘルメットにセンサーを取り付けることで接近を通知してくれるシステムや、バックホーの作業半径を監視できるように赤外線センサーを張ることで、事故を未然に防ぐことができていくことを理解しました。実施している現場に行き、重機の中に入れる体験ができて、コンピュータによって全ての動きを入力されていることがわかり、驚きました。

工木の事業分野の中でも、舗装・工木がリサイクルなどにも携わっているという点にたくさんの方々の事業を支えているものがあるなと思いました。橋をかける際にまずは床版型枠組立から取り除くことがわかりました。橋は河川の上を通るものなので、地盤の安定したところに、叩きかからないようにかけなければいけないので、大変な工事だと思いました。今回の体験をふまえて、新しいことを知っていくことは自分のためにもなり、これからは働いていくことに必要なことになってくると思うので、このような経験を大切にしていきたいと思います。

現場見学感想文

() 番 氏名 ()

今回の現場見学では、様々なこと学ぶことができました。初めに、魚津滑川バイパス工事概要説明とスケジュール説明を聞きました。次に、A・B班に分かれて行動しました。僕は、最初に外に出て早月川左岸ランプ出入口付近で、モータグレーターによるマシンコントロール技術の実施体験をしました。実際にモータグレーターに乗らせてもらいました。動いている感覚が重く、下が見づらいなと思いました。モータグレーターが動くとき、自動追尾型のトータルステーションが追いかけていくのがすごい技術と利便性だなと思いました。次に、作業員装着感知警報システムローラー用メットセンサーの実施体験をしました。実際に装着してみると、モータグレーターに近づくにつれて音が鳴り、振動もきました。この発明はとてもしょこいなと思いました。人の安全を守、ていいいなと思いました。次に、会議室に戻、てマシンコントロールと感知警報システムの座学を聞きました。感知警報システムの種類の多さと、性能のすばらしさをあらためて分かることができました。次に、一時間の昼休けいがありました。次に、会議室で説明を聞きました。会社の事業内容などの説明を聞きました。とても、難しい話でしたが、理解しようと頑張、て聞きました。次に外に出て、延槻大橋リッカー無線誘導の実施を見学しました。クレーンがとても大きくて追力がありました。今回学べたのは、安全性への、ていしたはいりよの大切さです。

現場見学感想文

() 番 氏名 ()

今回、学校生活最後の現場見学に行きました。今回は魚津滑りパイパスへ行きました。現場では新しい機械なども使っていて、効率良く作業をしていました。自分が一番便利だと思えた機械は、自動追尾型のトータルステーションです。重機にプリズムがついていて、重機が動くときそれに合わせてトータルステーションも一緒に動くのにとて便利だと思いました。そのトータルステーションを使えば、一人で測量を行う事ができるので、とて便利だと思いました。今日は、地面をけずる工事をしていて、そのときに追尾用のトータルステーションを使っていました。そのトータルステーションを使っているときに、重機に乗ってみると、とて大きな音をしていました。工事ではとて安全に気をつけていて、色々な安全対策補助装置がありました。ダンプカーなどは後ろの視界がすごく悪いので、ヘルメットにセンサーをつけて近づくとブザーと振動が鳴るようになっていました。実際につけてみると、ダンプカーに近づくと音がなると危険を知らせてくれました。危険に注意して、作業をする事は、とて大切な事だと思います。他にも、角度でブザーが鳴る物や監視員がつける赤外線式のセンサーなど、安全を心がけて作業をしていて良いと思いました。入り口にも色々な種類がある事を知りました。太陽光発電で、環境にも気をつけていて、とて良いと思いました。今回の現場見学で、土木の仕事の事や、作業内容を詳しく教えてもらい、将来の参考になりました。

現場見学感想文

() 番 氏名 ()

今日は、最後の現場見学でした。今回は、吉野大掛樋
工事と、冠視入橋床版工事を見学させていただきました。
まず初めに、魚津滑川ハイパス工事概要とスワシミュール
の説明を聞きました。その次に、A班とB班に別かれて
座学と、実施体験を行いました。座学では、情報化施工
技術説明を聞き、次に、重機災害防止対策の説明
を聞きました。土木工事の現場では、大型の重機を使い
効率がよい面もありますが、一歩間違えれば重大な事故
になりかねません。そこで、重機に赤外線センサーを
付けて、ヘルメットにもそれを感知して振動がなり、危
険を知らせてくれる装置があり、重機を操作する人の見
え方の所で作業をしている人に、危険を知らせるのこ
とでも入切れるものがあるなど、感じました。その他にも
トニネル内や、工た電線がある場合などに、砂利などを
積んだトラックが、とくに当たりそうな角度に居る前
センサーが感知して、危険を知らせてくれるシステム
ともあると聞き、安全対策の完璧さに驚きました。その
後は、実際に現場に行き、重機に乗りました。重機には
パネルが付いてあり、キーボードを通過して得る目面
をその重機が読み取り、とくに従って自動で作業がこ
えると言う最新の重機で、とても感動しました。前まで
は、職人さんの技でミリ単位で作業していたというの
聞いてとても不思議な作業だと思いましたが、今は、自動
でできるのび、時代とともた工事も新歩していい
と思えました。この見学を通して、土木工事の大切さが
ありため分かつ、とてもよい経験になりました。

100

200

300

400

500

600

700

現場見学感想文

（ ）番 氏名（ ）

今回の現場見学では、国道8号線の魚津滑りバイパスを見学しました。今までにあまりわからなかった座学がありました。座学では工事の内容などを知らることができました。4車線化をすることによって交通混雑の緩和や走行性が向上によって死傷事故の減少などいろいろメリットがあることがわかりました。実体験では、マシンコントロール実施体験とローラー用メットセンサー実施体験がありました。マシンコントロール実施体験ではモーターグライダーの施工の体験を行いました。モーターグライダーはトータルステーションによって高さなどを計算して地面をならしている作業はすごいと思いました。モーターグライダーに乗ってみると運転している人はハンドルの操作だけを行っているので運転している人はとても簡単な操作だけで運転していることがわかりました。ローラー用メットの体験ではタイヤローラーが作業をしている人との接触事故を防止するために使用されていることがわかりました。タイヤローラーは15tほどの重さがあり人に接触すると大きなけがをすることになるので警報システムは大事な装置だと思いました。リック無線誘導の見学ではリックを運転している人は荷物を降ろす場所がわからないので無線で指示する人がいないと荷物を降ろすことができないと思いました。今回の現場見学はとても良い経験になりました。将来は今回体験させてもらった重機などを操作をする仕事をしたいと思いました。

現場見学感想文

()番 氏名 ()

今日、現場見学に行き、一番楽しかったことは、ローラ-用メットセンサー実施体験です。マシンコントローラ-とヘルメットにセンサーを取り付け範囲内に入ると両方のセンサーが反応するのにはとてもびっくりしました。ヘルメットのセンサーは音が鳴ると、ヒモに付けるクリップが振動するのですぐ気づくことができたと思います。死亡事故を防ぐための対策がしてあることに安心しました。座学では、トラックに付けダンパアッポした時に天井と接触させないようにしたり、バックホ-に付いたりなどさまざまな作業機械に取り付けることができたと思います。マシンコントローラ-実施体験では、実際に操作している隣に座り、運転などを真近で見ることができ楽しかったです。トータルステーションとマシンコントローラ-がレーザー光線をつながっていて、光の反射を目標にプリズムを追う自動追尾型になっていて、一人で作業ができること知り、日本の技術はすごいと思いました。トータルステーションがマシンコントローラ-を追いかけているのを生で見ることができました。座学を受け思ったことは、この部分はこの建設会社、あの部分は違う建設会社というように各部分、場所によって違うことを知りました。どの様な時でも責任はありますが、各建設会社でわかれていると、もっと責任が問われるし、信頼も大事になってくると思います。その気持ちで常に大事なんだと思います。今日自分が見たことをふまえてまた将来のことを考えていきたいと思いました。

100

200

300

400

500

600

700

